

A stylized orange map of Saga Prefecture is centered on the page. The text '佐賀県の取組について' is overlaid on the map in a light blue, semi-transparent font.

佐賀県の取組について

佐賀県産業労働部新エネルギー産業課



佐賀県再生可能エネルギー等先進県実現化構想（H30.3策定）

取組方針と具体的な取組の例

取組方針		県にあるリソース（例）	具体的な取組（例）
先行する再エネを更に拡大	太陽光発電及び風力発電の導入を将来的に更に拡大するため、発電量の不安定さを調整する仕組の構築に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 良質な電力インフラ 佐賀水素ステーションの立地条件 	<ul style="list-style-type: none"> 水素・EV充電・熱等による電力調整システム構築
多様な再エネ資源の活用	導入が進んでいない比較的安定した再生可能エネルギー由来電力の導入に向け、技術開発や事業モデルの構築等に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 国の実証フィールド選定 佐賀大学の研究シーズ 小水力発電関連企業 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋再生可能エネルギーの推進 小水力発電事業モデルの構築
	再生可能エネルギーの電力以外の用途開発等を進める	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀大学の研究シーズ 佐賀市による廃食用油の高品位燃料化の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽熱、低位熱（地中熱、下水熱）等の活用モデル構築 廃食用油の高品位燃料化
再エネ以外のCO2削減手段検討	CO2を多く排出する燃料から、排出がより少ない燃料への転換について検討を進める	<ul style="list-style-type: none"> 重油・石炭の産業利用 	<ul style="list-style-type: none"> 石油・石炭からガス燃料への転換
	エネルギーの消費量を減らすための取組について検討を進める	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業による製品開発事例 	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業が開発した省エネ製品のトライアル購入
海外への展開検討	発展途上国を中心とした諸外国における再生可能エネルギー導入に寄与する施策について検討を進める	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀NGOネットワークの人的ネットワーク 佐賀大学の研究シーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 県内のNGOと連携して発展途上国のニーズ等を発掘し事業モデルの創出を検討

【目的・動機】

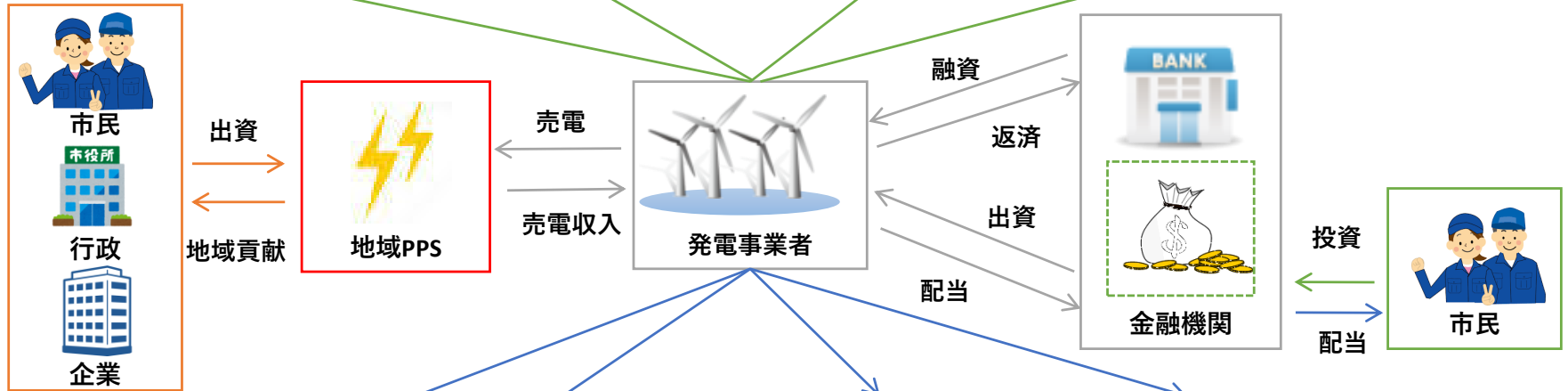
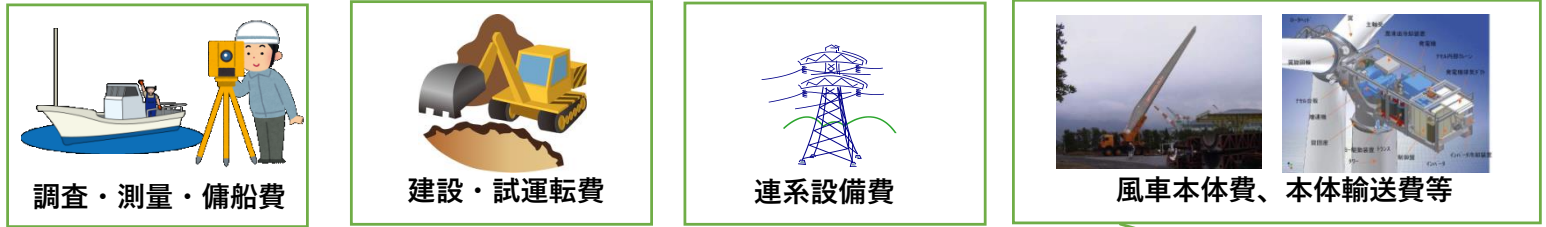
- 県内経済への波及効果
 - ・ 海上から陸上まで幅広い産業分野に波及する可能性を期待
 - ・ 維持管理に係る経済効果は、長期間（20年以上）安定的に継続
 - ・ 早期に取り組むことで、より多くの波及効果を期待
- 再生可能エネルギーの導入拡大
 - ・ 将来的に、使えるエネルギーの種類が産業競争力を左右することを懸念

【背景】

- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が、唐津市及び玄海町沖合を洋上風力発電の適地として評価（H28年度）
 - ・ 複数の事業者が、同海域での事業化の検討を開始
- 海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律（再エネ海域利用法）が今年4月に施行

洋上風力発電事業による経済効果の波及分野

建設段階



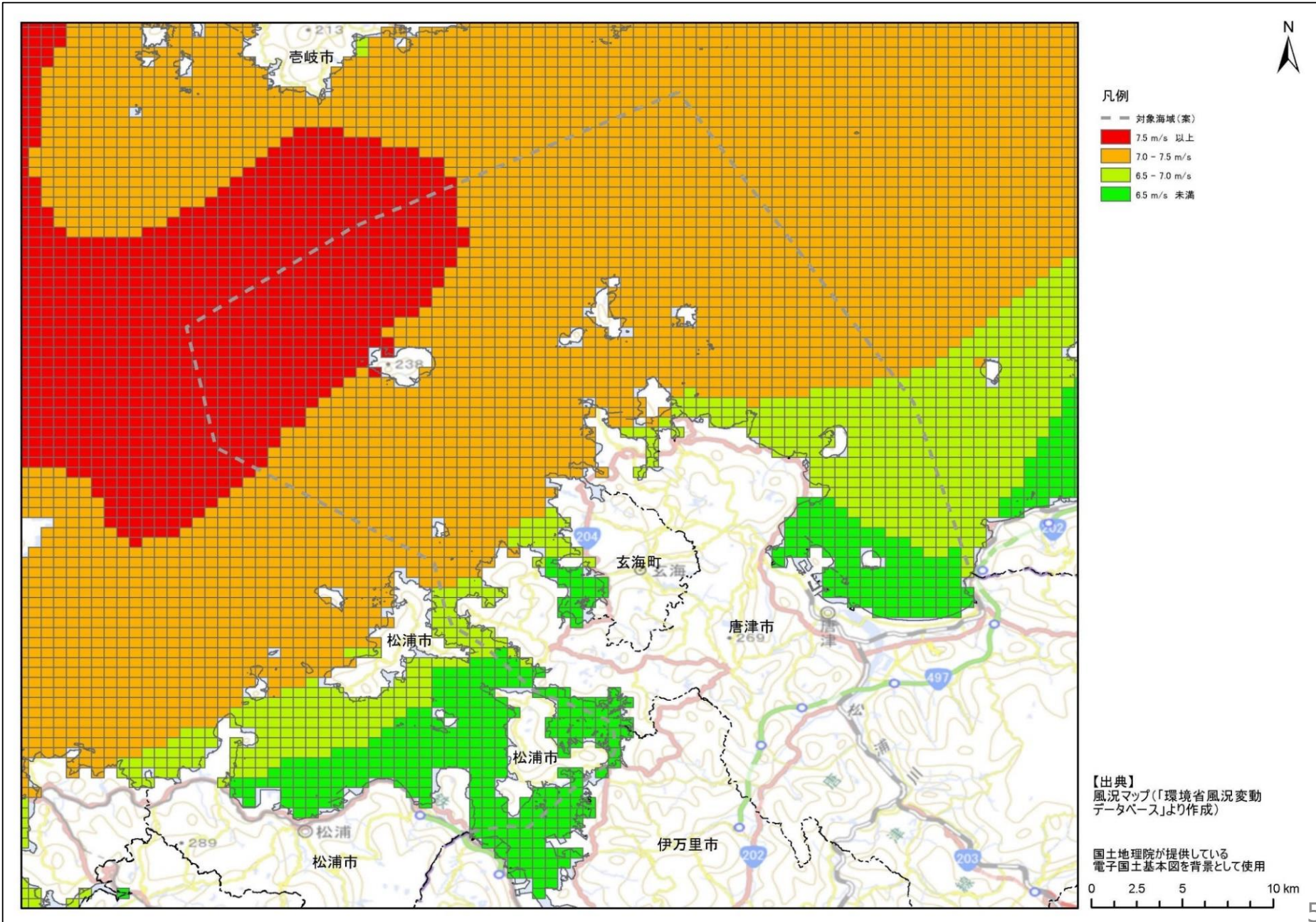
運営段階



その他の波及効果

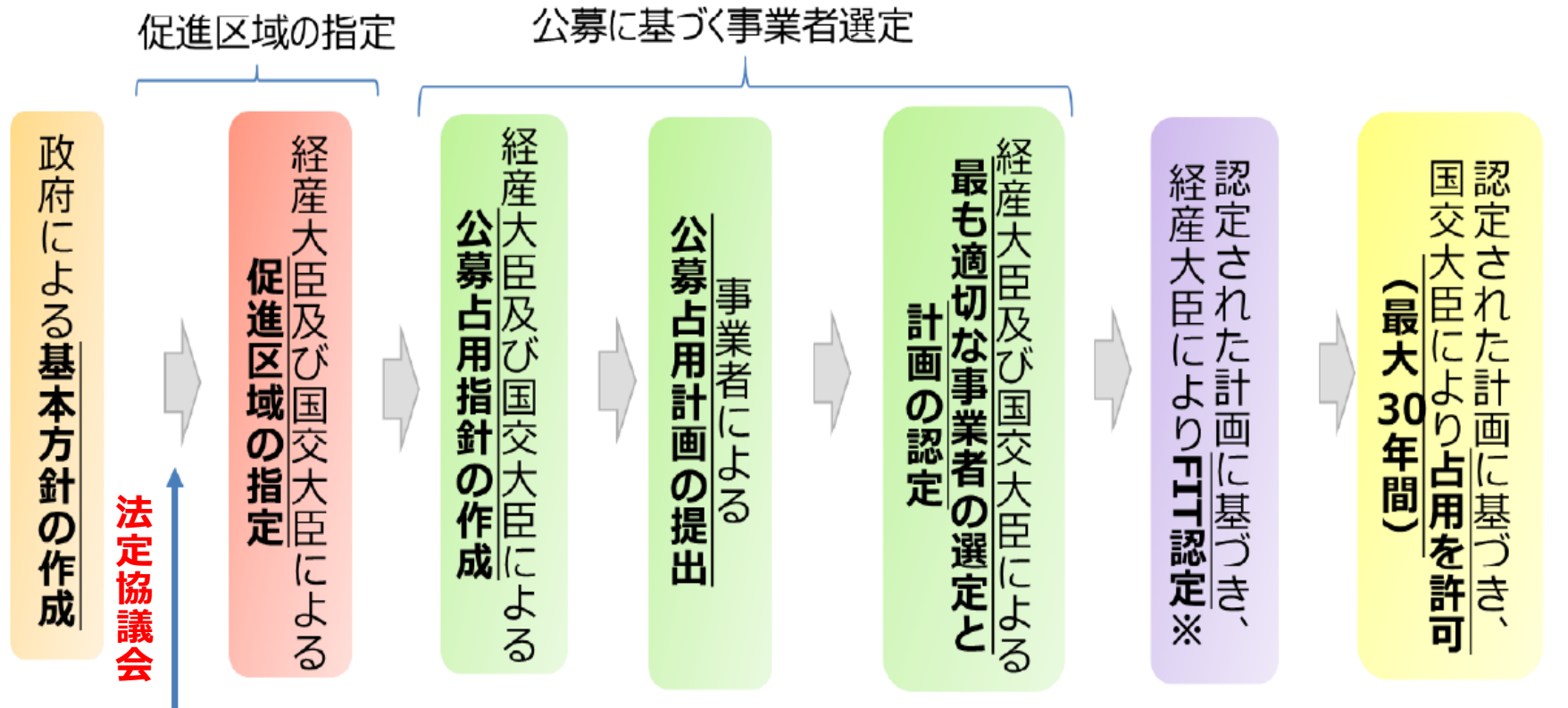


風況マップ国の公表（環境省データ）



再エネ海域利用法（概要）

- ・ 洋上風力発電の事業化を認める海域を「促進区域」として国が指定
- ・ 発電事業者を公募により国が選定し、海域の占用を許可（最長30年）



経産大臣及び
国交大臣による
区域の状況の調査

農水大臣、環境大臣
等の関係行政機関の
長への協議

先行利用者等をメン
バーに含む
協議会の意見聴取

区域指定の案
について公告
(利害関係者は
意見提出が可能)

再エネ海域利用法に基づく海域選定状況

- 都道府県等からの情報収集を踏まえ、**再エネ海域利用法における促進区域の指定に向けて、既に一定の準備が進んでいる区域（11区域）を整理した。**

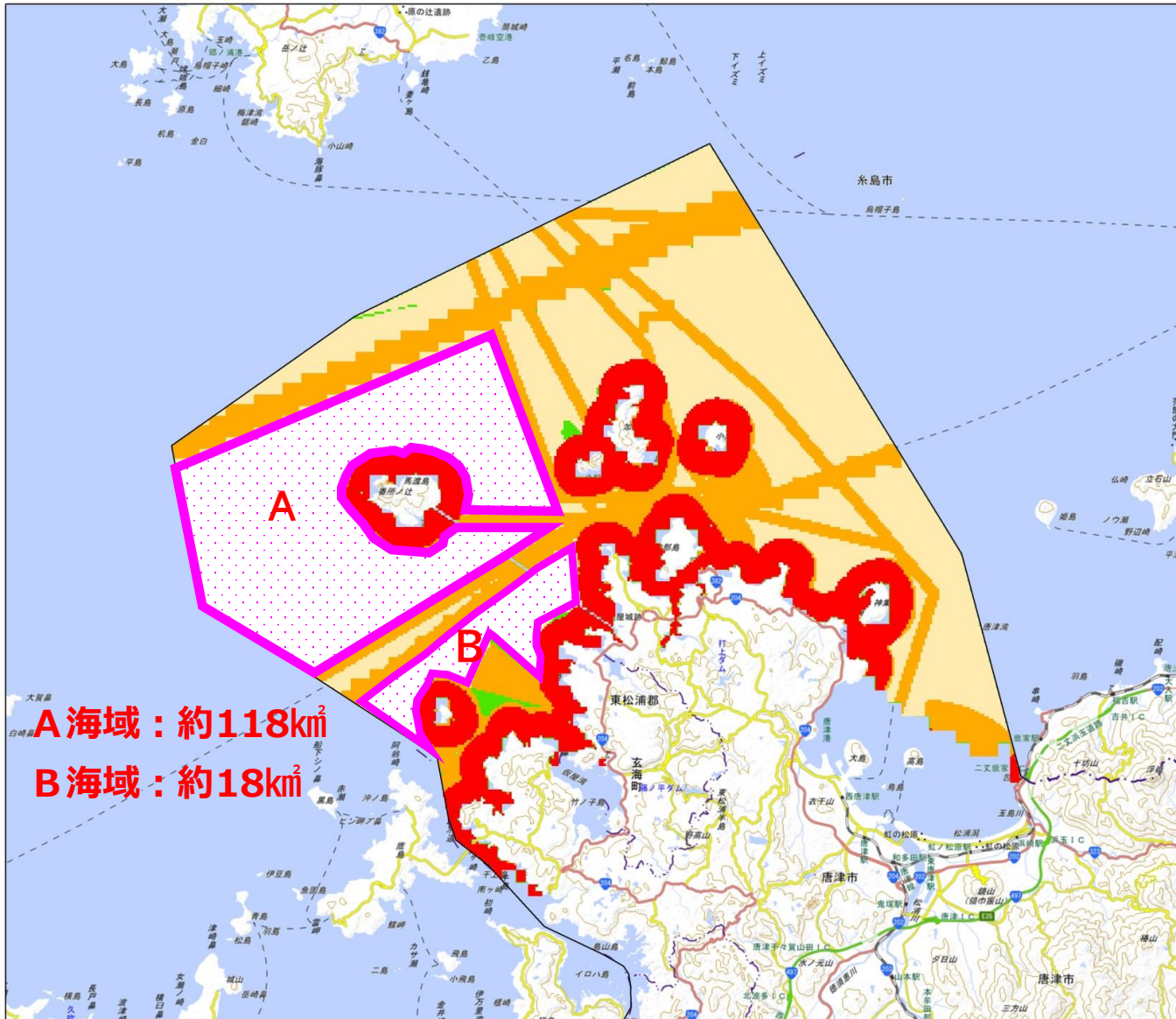


※以下の4区域については、地元合意などの環境整備が進捗していることから、協議会の組織や国による風況・地質調査の準備を直ちに開始する。

- 秋田県能代市・三種町・男鹿市沖
- 秋田県由利本荘市沖（北側・南側）
- 千葉県銚子市沖
- 長崎県五島市沖

候補海域選定の考え方

A及びBエリアを対象に地元等への理解促進の取組を行い、結果を踏まえて選定



A海域：約118km²
B海域：約18km²

凡例

- 対象海域
- 保全エリア（陸地から1km内）
- 特に配慮が必要な海域（定期航路等）
- 候補海域

【絞り込み条件】

- 風況が良い
- 海砂採取等の許可がない
- 複数の事業者が具体的に検討
- 面積がある（B海域はA海域と一体的な開発を想定）

0 2 4 8 km

今後の予定

- 今年度は、唐津市馬渡島及び玄海町において説明会を2回開催
 - ・ 第2回目は、令和2年1月下旬から2月上旬頃の開催を想定
- 説明会で頂戴したご意見を踏まえ、今後の方針を検討